

有明の丘研修（対面研修）の中長期的な方向性について （論点ペーパー1）

○E ラーニングを整備していく中で、対面研修をどのように全体の中で位置づけていくか。

例：E ラーニングで標準的な講義、対面ではより講演者の個性や個別の経験がでるようなもの、演習（ワークショップ）等。

○1コース2日×10コースの枠組を堅持する必要があるのか。

E ラーニングでかなりの対応ができるため、新コースの創造についても試行していくべきではないか。

○受講対象者の資格要件

例：E ラーニング教材の指定科目の受講＋テスト合格

